

流域治水プロジェクトの取組事例集 (森戸川水系)

(森戸川流域治水協議会)

- 森戸川水系においては、「森戸川水系河川整備計画（平成27年5月）」に基づき、時間雨量約65mmの降雨による洪水を安全に流下させるため、河道整備（河道掘削、堤防整備、護岸整備、橋梁架替）を行う。

実施状況

河道整備の一例

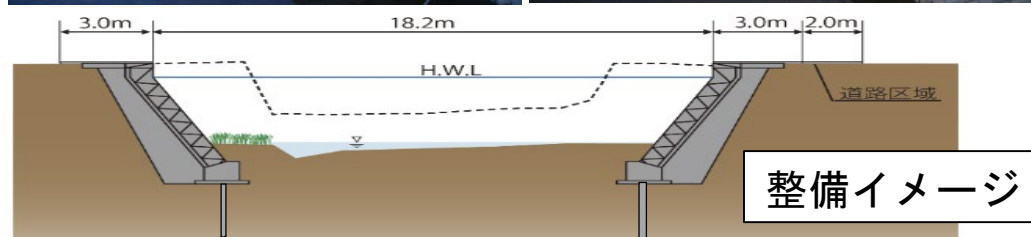
平面図



護岸整備前



護岸整備後



整備イメージ

対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
河川改修事業による河道整備	神奈川県	▶		

森戸川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
神奈川県、小田原市

- 準用河川関口川においては、台風や局地的豪雨による浸水被害のリスク解消を目的に、二級河川森戸川合流部から関口川橋までの900m区間について、時間雨量30mmの降雨を安全に流下させるため、護岸整備を行う。

実施状況

■ 河道整備の一例

平面図

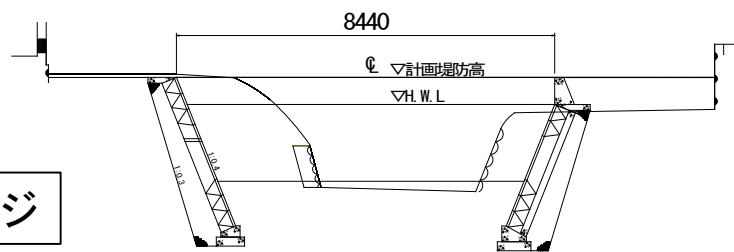


整備前



整備後

整備イメージ



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
準用河川改修事業における河道整備	小田原市	▶		

森戸川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
小田原市、神奈川県

- 小田原市では、人口減少・超高齢社会を踏まえた持続可能なまちづくりに取り組むため、生活に必要な機能を都市の拠点周辺に誘導するとともに、公共交通ネットワークによりその拠点間を結ぶ、コンパクト・プラス・ネットワーク型の都市構造を目指し、平成29年3月に立地適正化計画を策定した。
- 近年、気候変動の影響等により頻発・激甚化する自然災害に対応するため、令和5年3月に災害リスクを勘案した居住誘導区域の変更を行うとともに、防災・減災対策を定める「防災指針」を策定した。

取組内容

- 最新の浸水想定区域を反映した居住誘導区域の設定により、災害リスクの低いエリアへと居住を緩やかに誘導する。

居住誘導区域の設定の考え方・フロー

基本的な考え方に基づく範囲の抽出
 ・拠点：都市機能誘導区域と同範囲
 ・周辺市街地：拠点及び鉄道駅の徒歩圏
 ・基幹公共交通沿線：公共交通の幹線（バス）の路線沿線

土地利用・都市基盤の観点から区域を抽出
 ※災害リスクの観点を踏まえて設定

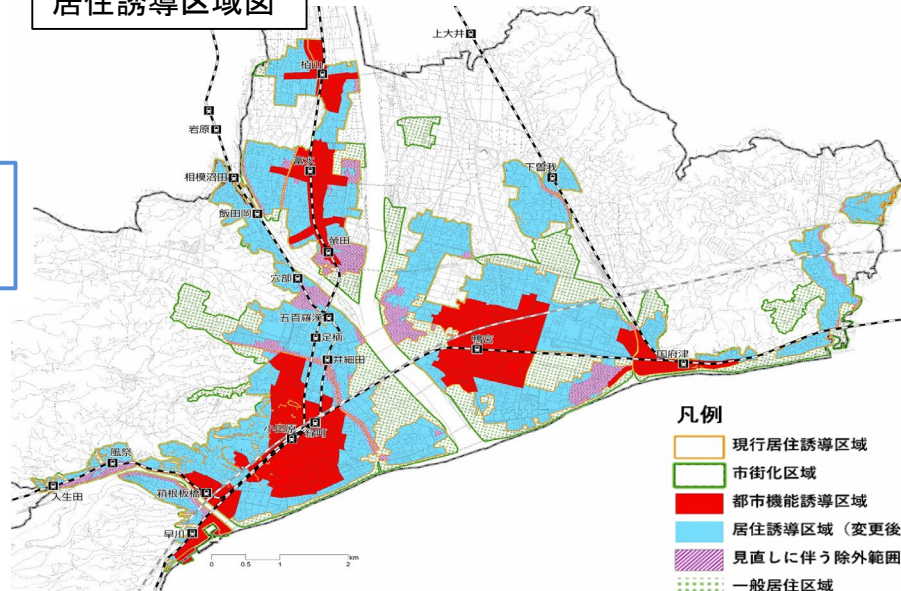
用途地域、地形・地物等を境界として区域を設定

居住誘導区域

居住誘導区域に含めない区域

- ・ 災害時のリスクを考慮し、土砂災害、津波被害、浸水被害などのハザード指定区域や甚大な被害が想定される一定区域を居住誘導区域に含めないものとしている。
- ・ 急傾斜地崩壊危険区域
- ・ 土砂災害特別警戒区域（土石流）
- ・ 洪水浸水想定区域（浸水深3m以上）
- ・ 津波浸水想定区域（浸水深2m以上）

居住誘導区域図



凡例
 〇 現行居住誘導区域
 〇 市街化区域
 〇 都市機能誘導区域
 〇 居住誘導区域（変更後）
 〇 見直しに伴う除外範囲
 〇 一般居住区域

対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
立地適正化計画の推進	小田原市	→		

森戸川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

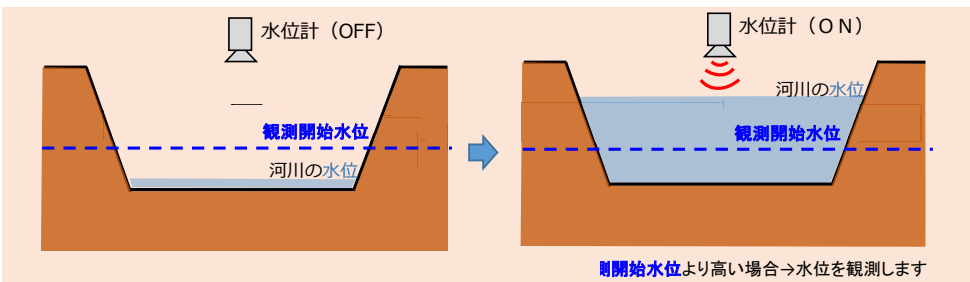
小田原市、松田町

- 住民の適切な避難判断のための水位情報提供を目的に、これまで水位計の無かった箇所でも水位把握できるように、洪水時の水位観測に特化した低コストな水位計を設置することで、出水時の水位観測により避難体制の強化を図る。

取組内容

■危機管理型水位計とは

- ・ 洪水が発生した際に、河川周辺の住民の皆様が避難する際に、役立てていただくために設置する水位計。
- ・ 河川が未整備のため注意を要する箇所や、学校や病院など、重要な施設が周辺にある箇所に設置。



■県ホームページから水位状況を確認することが可能



■危機管理型水位計の設置事例



対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
危機管理型水位計・簡易河川監視カメラの設置	神奈川県			

森戸川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体

神奈川県

避難体制等の強化 【マイ・タイムラインの取組推進】

被害の軽減、
早期復旧・復興
のための対策

- 令和4年度に町が開催した防災講演会において、総務省消防庁職員からマイタイムラインの説明を実施し、町民、自主防災組織等への啓発を行った。
- また、令和4年3月に更新したハザードマップを住民向けに説明する勉強会を実施した。その際にマイタイムラインについて紹介を行った。

取組内容



防災講演会の開催

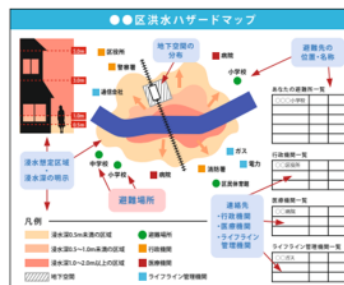


勉強会の開催

マイ・タイムラインとは



- マイ・タイムラインとは住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）で、台風などの接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身と取る標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするものです。
- その検討過程では、市区町村が作成・公表した洪水ハザードマップを用いて、自らの様々な洪水リスクを知り、どのような避難行動が必要か、また、どういつタイミングで避難することが良いのかを自ら考え、さらには、家族と一緒に日常的に考えます。



防災講演会資料（マイタイムライン説明）

対策内容	実施主体	工程		
		短期	中期	中長期
マイタイムラインの取組推進	大井町	▶		

森戸川流域において、上記を含む類似・同様な取組を実施している自治体
大井町、小田原市、松田町